

between art and design

あいだ
アートとデザインの間

アートとデザインの間で古くから語られてきたボーダーは、
今ではすっかり姿を変え、その先には新たなフィールドが誕生しているようです。

デザインとアートをテーマに世界中で話題の展覧会を開催する
研究者、キュレーター、アレクサンドラ・ミダル教授が登場します。
日本側からは「ものづくりと物語の両立」をテーマに新しい技術・芸術・文化を
編み上げることを目指し、活動の場をぐんぐん広げている渡邊康太郎さん。
先の見えない現代をこの二人はどのように読んでいるのか？

2017. 11.22(水) 20:00-21:30

対 談： アレクサンドラ・ミダル Alexandra Midal
渡邊康太郎 (Takram) Kotaro Watanabe

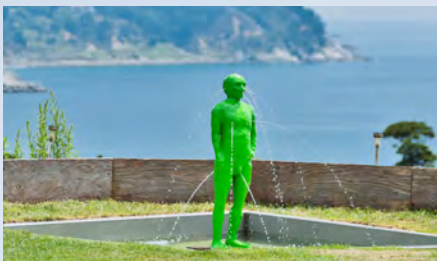


出演：アレクサンドラ・ミダル



出演：渡邊康太郎 (Takram)

会 場： ワタリウム美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-7-6
Tel: 03-3402-3001 Fax: 03-3405-7714
http://www.watarium.co.jp



ファブリス・イベール POF no53 ベシーヌの人 1988 / 2017

アレクサンドラ・ミダル

スイスのジュネーブ造形大学(HEAD)MAスペース&コミュニケーション、映像文化&デザインの教授。
Popcorn, Art, design & Cinema展、MAMC(サン・ティエンヌ近代美術館)、
Passe-muraille展、パリ市立近代美術館、イームズ&ハリウッド展、ADAM(ブリュッセル)、
Cry me a River展、Artists Space(ニューヨーク)などの展覧会をキュレーション。
2018年2月「Design by Accident: For a New History of Design」、
デザインと連続殺人に関する著書が今年の冬に出版予定。
今回はリボンアート・フェスティバル参加アーティストの一人、ファブリス・イベールの作品POF
(Prototypes d'Objets en Fonctionnement、機能を持ったオブジェのプロトタイプ)の
実験を例に独自の理論を展開する。

渡邊康太郎 (Takram)

Takramのパートナー、コンテキストデザイナー。生活のなかに息づく種々のものがたりを発見し、
描き、伝える手段として、サービス企画立案、企業ブランディング、UI/UXデザイン、アート作品制
作などに取り組んでいる。アテネ、香港、東京で育つ。独自のワークショップ形態や発想手法を組み
合わせ、国内外の企業や大学向けの研修・講義や執筆活動を展開。代表的な仕事として虎屋と製
した未来の和菓子「ひとひ」、Andaz Tokyoのブランドムービー、森岡書店 銀座店のVIデザ
イン・ディレクション、「Wabi-Sabi わびさびを読み解く」の巻末エッセー執筆、「This is Service
Design Thinking」の監修・解説等。



©Kotaro Watanabe

参加費：1,800円 サポート会員 900円 アートバス会員 1,440円

申込方法：ご参加をご希望の方は、右記、申込書を送信いただき、
併せて、下記の口座へお振込ください。ご入金をもって受付完了となります。
ご入金確認後、11/21までに受付票をE-mailにて返信いたします。
送信先：E-mail:order@watarium.co.jp Fax:03-3405-7714
振込先：三井住友銀行 青山支店 [普] 1033281 [名義] ワタリウム美術館
お問合せ：ワタリウム美術館 Tel: 03-3402-3001
E-mail: order@watarium.co.jp

●携帯電話メールはワタリウム美術館からの返信が入らない場合がございますので、ご注意ください。
●ご入金後のお客様のご都合による返金はできませんので、ご注意ください。●定員になり次第、受付を終了いたします。

アートとデザインの間_申込書：

氏名	会員 No.
TEL	FAX
E-mail	
ご住所	